



ご飯が炊ける様子を観察 日野幼稚園 食育クッキング

町では、幼稚園・保育所・認定こども園の5歳児を対象として、お箸の持ち方やみそ汁作りなどの食育事業を各園で年間5回ほど行っています。

6月4日(火)には、日野幼稚園で耐熱ガラス鍋でご飯を炊く食育クッキングが行われました。

園児たちは交代でお米を洗い、水の色が始めは白いのに最後は透明になることや洗ったお米が洗う前より白くなっていることに気付きました。また、加熱中の鍋の中でぶくぶくと沸騰する様子を「泡がいっぱいですー」「いいにおいがしてきたー」と楽しそうに見ていました。

炊きあがったご飯を蒸らしている間に紙芝居を見ておにぎりの作り方を教わり、最後に自分でおにぎりを作っておいしそうに食べていました。



ご飯って
こうやって
できるんだね！



外国人研修生が日野町で 文化体験と 交流をされました

6月15日(土)・16日(日)、海外の地方自治体職員の研修の一環として、日本の歴史・文化に直接触れ学ぶことを目的に、海外(中国・韓国・ペルー・マレーシア・ネパール)から11名の研修生が日野町に来られました。

研修では、近江日野商人館と近江日野商人ふるさと館で日野町の歴史や文化について学ばれました。昼食は、日野の伝統料理を継承する会による「鯛そつめん御膳」で、料理の美しさや引き継がれてきた味に感動されていました。その後、日野祭曳山囃子方交流会の演奏を聞き、交流会の皆さんにリズムを教わりながら一緒に演奏し楽しまれました。

また、ホストファミリーの家では、一緒に料理をつくったり町内を観光したりして、住民と交流されました。



法被を着て、
楽器体験♪



学校を越えて楽しく交流 「なかよしキャンプ」

6月20日(木)、大谷公園体育館で「第42回日野町立小・中学校特別支援学級なかよしキャンプ」が行われました。

「なかよしキャンプ」は、日野町手をつなぐ育成会、日野町社会福祉協議会、各校の職員、日野町役場などが協力して毎年開催しており、特別支援学級に所属する児童・生徒が一堂に会して交流しています。

今回は「風船バレー」「的当て」「ペットボトルダーツ」「ピョンじゃんけん」「紙飛行機」「ボッチャ」の6つのゲームコーナーを班ごとに回るレクリエーションが行われました。児童・生徒たちは、体を思いっきり動かし、生き生きとした表情で楽しんでいました。その後の昼食でも班ごとにお弁当を食べ、学校や学年を越えて親睦を深めました。

ゲームを通して
仲良くなれました☆



第42回日野町消防団ポンプ操法訓練大会

6月23日（日）、消防器具の安全な操作を身につけることを目的に、日野消防署でポンプ操法訓練大会を開催しました。選手の皆さんは、団員やご家族からの声援を受け、5月下旬からの訓練の成果を遺憾なく発揮され、どのチームも見事な操作を披露されました。団員の皆さんは、実際の現場でも訓練の成果をいかし活動されています。

大会結果

小型ポンプの部

優勝 第2分団Bチーム
森本記祥さん 野田大輔さん
小南裕司さん 奥村和哉さん

ポンプ車の部

優勝 第3分団26
岸村大剛さん 村島貴之さん
酒井伸貴さん 白井達也さん
小田浩さん

◆問い合わせ先

総務課 総務担当

☎ 0748-52-6500



操法中の様子



ご家族からの声援

多文化共生講演会（人権学習講座）

を開催します

町では、国籍などの異なる住民が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係のもと地域で共に生きていく多文化共生の理解を促進するため、講演会を開催します。事前申し込みは不要で、どなたでもご参加いただけます。ぜひお越しください。

【とき】 9月4日（水） 19時30分～21時

【ところ】 わたむきホール虹 ふれあいホール

【演題】 「やさしい日本語」を通した

多文化共生のまちづくり

【講師】 （公財）箕面市国際交流協会 事務局次長

岩城あすか氏

【講師紹介】

平成17年度より（公財）箕面市国際交流協会に勤務、10年以上にわたりに在住外国人が日替わりでシェフをつとめるコミュニティカフェを運営。令和元年度より（一財）自治体国際化協会の地域国際化推進アドバイザーとして、全国各地で「やさしい日本語」などの研修講師を務める。



◆問い合わせ先

日野町教育委員会事務局 生涯学習課
日野町国際親善協会事務局（企画振興課内）

☎ 0748-52-6566
☎ 0748-52-6550

